

(取り付け前に必ずお読み下さい)

- 《仕様》
- ・ノーマルマウントプレート交換タイプ (タンデム走行不可) \*1
  - ・New NASSERT R PULS (UP type) 及び New NASSERT R (DOWN Type) 対応
  - ・ノーマルマフラーは、取り付きません\*2
  - ・3ポジションに変更可能
  - ・逆チェンジに変更可能
  - ・シフトストローク2パターン変更可能
  - ・クラッチスレーブプレートキット付属
- \*1: タンデムステップホルダーキット (タンデムステップはノーマル使用) は、オプションであります。¥: 39,800

3 Position

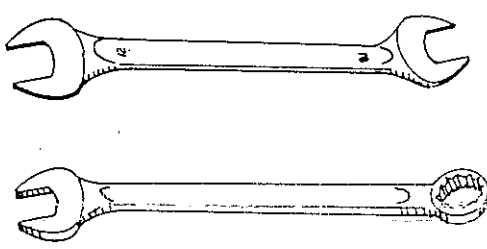
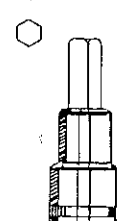
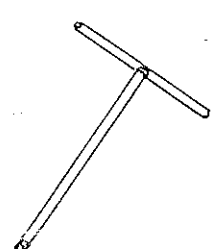

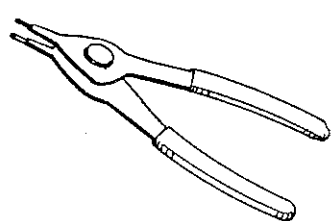
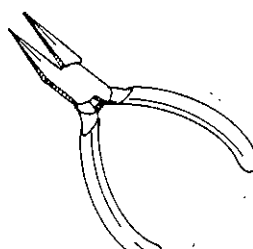
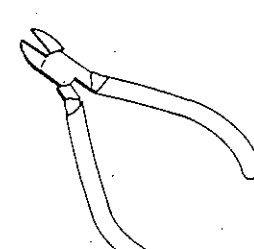
	BACK	UP
1	15	18
2	24	25
3	32	32

m/m

!! ATTENTION !!

- ▽ 取り付けは、メーカー発行のサービスマニュアルによる確かな知識・技術を持ったバイクショップ又は販売店に依頼することをお勧めします。
- ▽ 車両の個体差 (特に溶接によるナット・プレートの各取り付けピッチのずれ。旧年式の車両及び拡張車。) が非常に多いので、車両によっては取り付けにくい場合があります。あらかじめご承知下さい。取り付けにくい車両は、ボルトに少量のグリスを塗布し、ナットに対してナメない様に、ゆっくり締め込んで下さい。
- ▽ ノーマルパーツの取り外し、ブレーキラインのエア抜きなどについては、サービスマニュアルを参照して下さい。
- ▽ 作業に取り掛かる前に、あらかじめブレーキオイルを抜いておきます。取り付け説明は、ブレーキオイルを抜いてあることを前提で説明しています。
- ▽ 逆チェンジを選択する場合は、ノーマルスプロケットカバーは、取り付けできません。

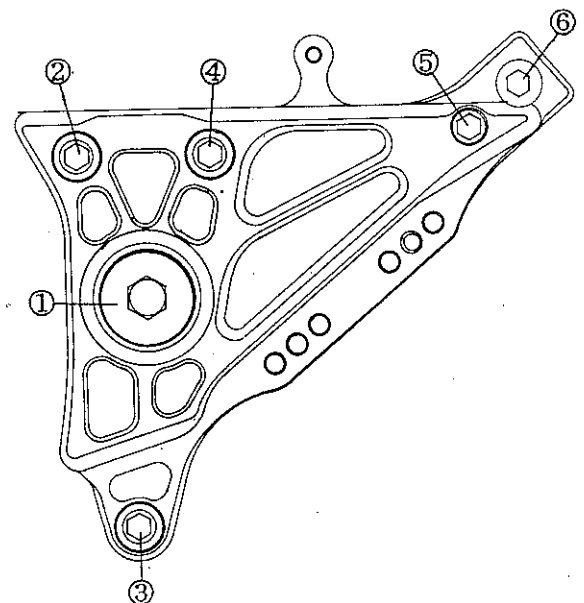
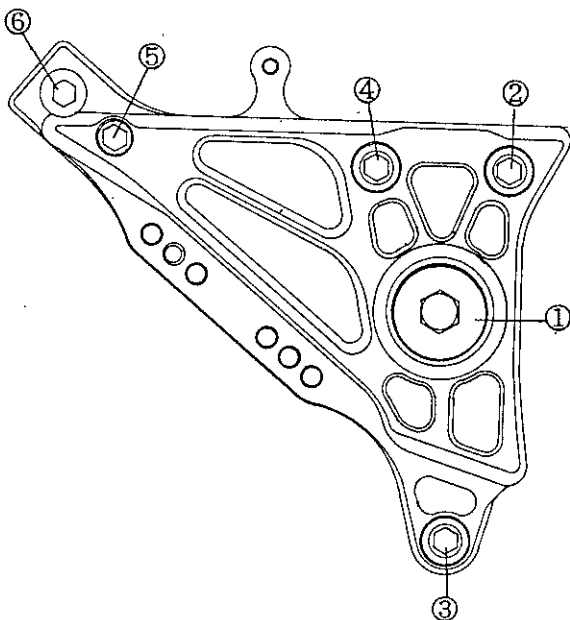
Hyper bankの取り付けに使用する工具。(図に挙げている工具は、参考です。これだけに限りません。)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・10mm</li> <li>・12mm</li> <li>・13mm</li> </ul> <p>コンビネーション or スパけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4mm</li> <li>・5mm</li> <li>・6mm</li> <li>・12mm</li> </ul> <p>ヘックスソケット</p> 	<p>T型レンチ or ラatchetハンドル</p> 	<p>・2.8kg-m 9.0kg-m を測れるトルクレンチ</p> 
<p>・スナップリングプライヤー (穴用)</p> 	<p>・ロングノーズプライヤー</p> 	<p>・ニッパー</p> 	<p>:その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーキフルードDOT4</li> <li>・エア抜き用ホースφ4程度</li> <li>・ウエス (布)</li> <li>・オイル受け</li> <li>・パーツクリーナー</li> </ul>

: 締め付け (仮締め) 手順及び締め付けトルク :

- (R)
- ・①は、 9.0kg-m
  - ・②③④⑤⑥は、 2.8kg-m

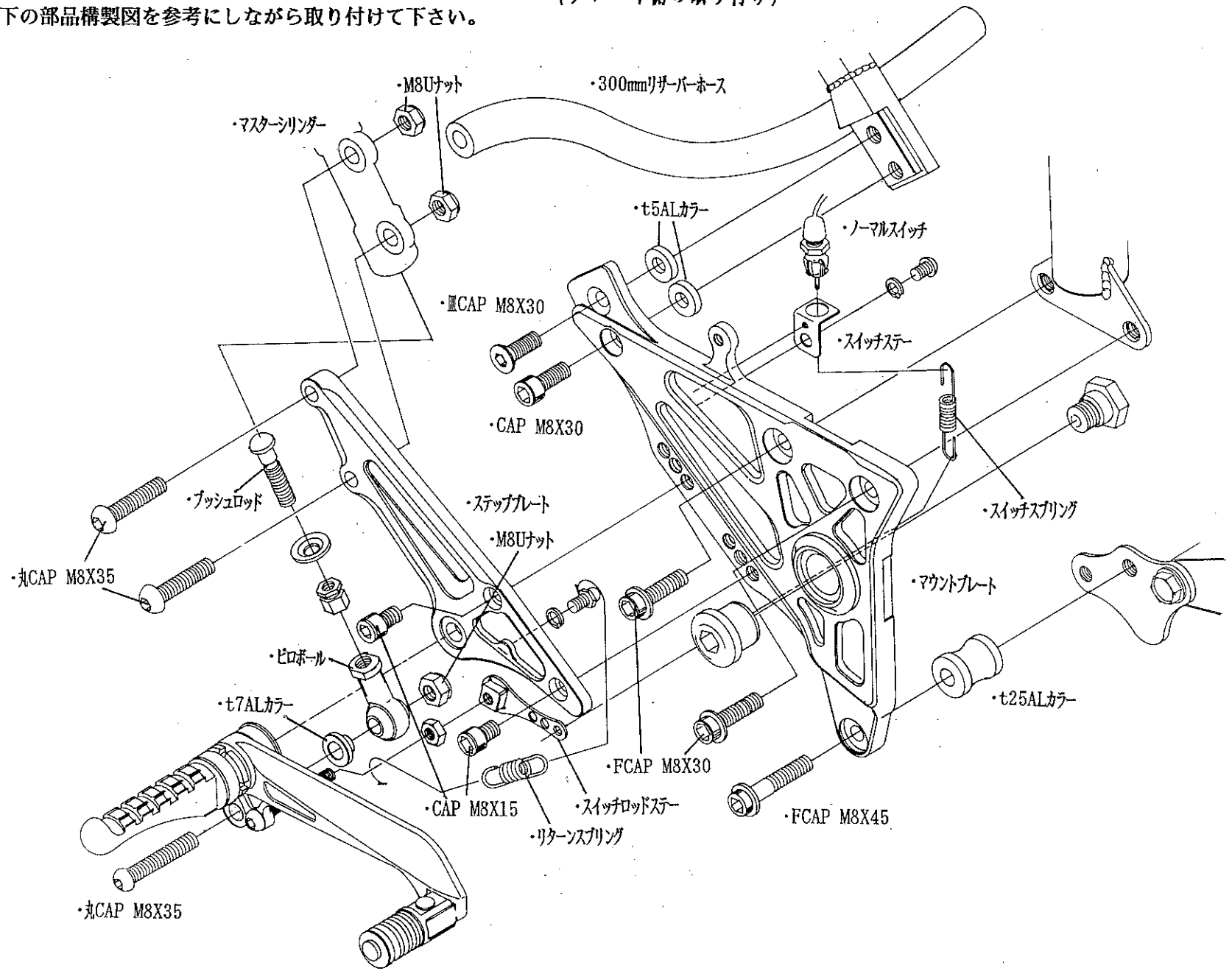
- (L)
- ・①は、 9.0kg-m
  - ・②③④⑤⑥は、 2.8kg-m



※ 取付け時に、必ず各部の増し締めをして下さい。

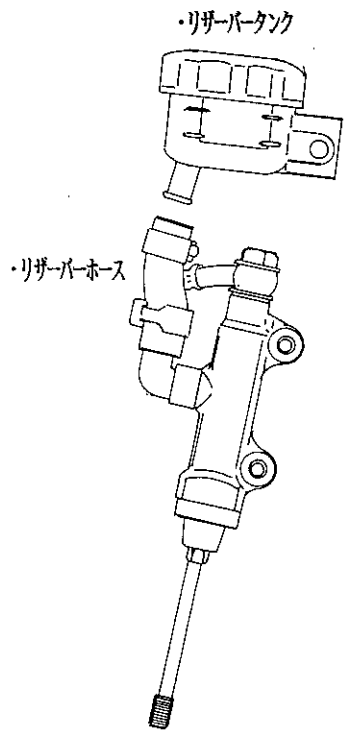
(ブレーキ側の取付け)

・下の部品構製図を参考にしながら取り付けて下さい。

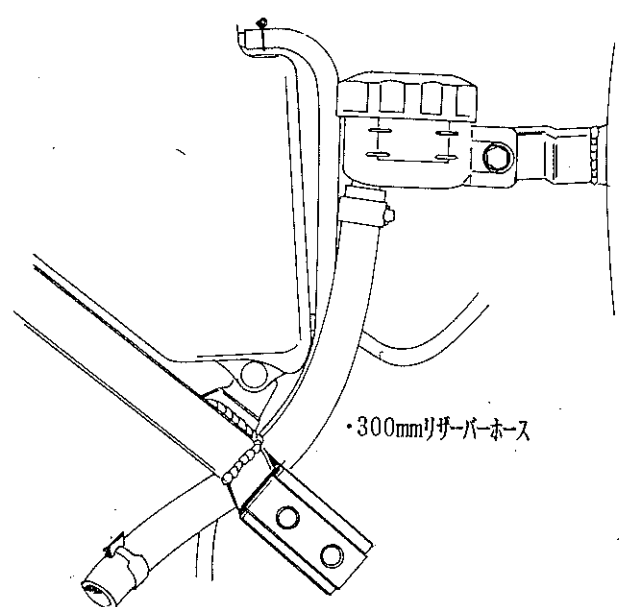


1] サイドカバーを取り外し、ブレーキフルードを抜き取ります。マスターシリンダー及びマウントプレートを取り外します。

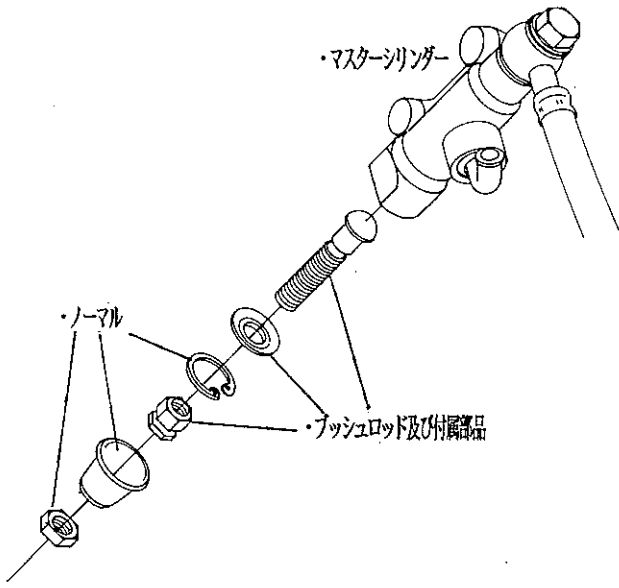
2] 図の様に、リザーバーホースを取り外します。(ホースバンドは、再使用します。) マスターシリンダー側も、図の様にしておきます。



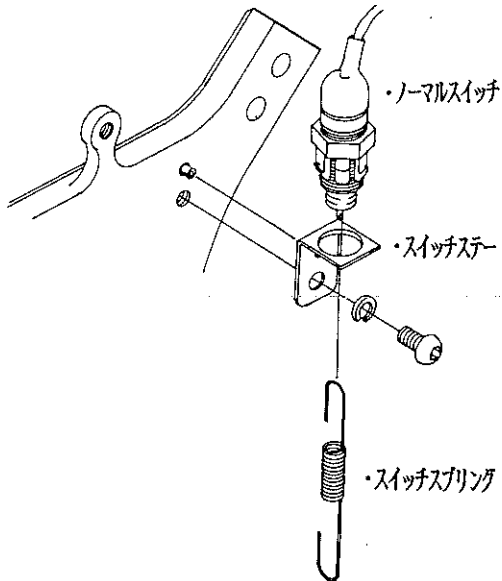
3] リザーバタンクに付属のホースをつなぎ、ホースバンドで止めて、元の位置に取り付けます。あらかじめ図の様に、ホースを通しておきます。



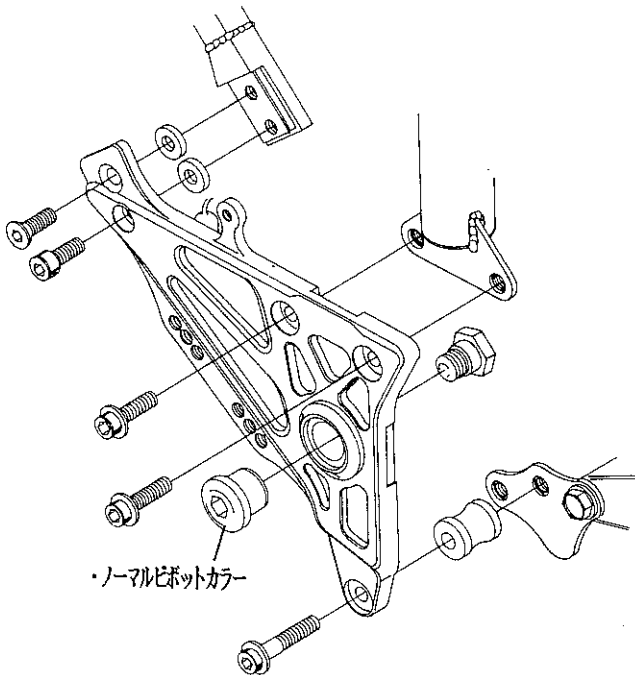
4] 図の様に、マスターシリンダーのプッシュロッドを、付属のプッシュロッドと交換します。



5] 図の様に、ノーマルスイッチ・スイッチスプリングを取り付けます。

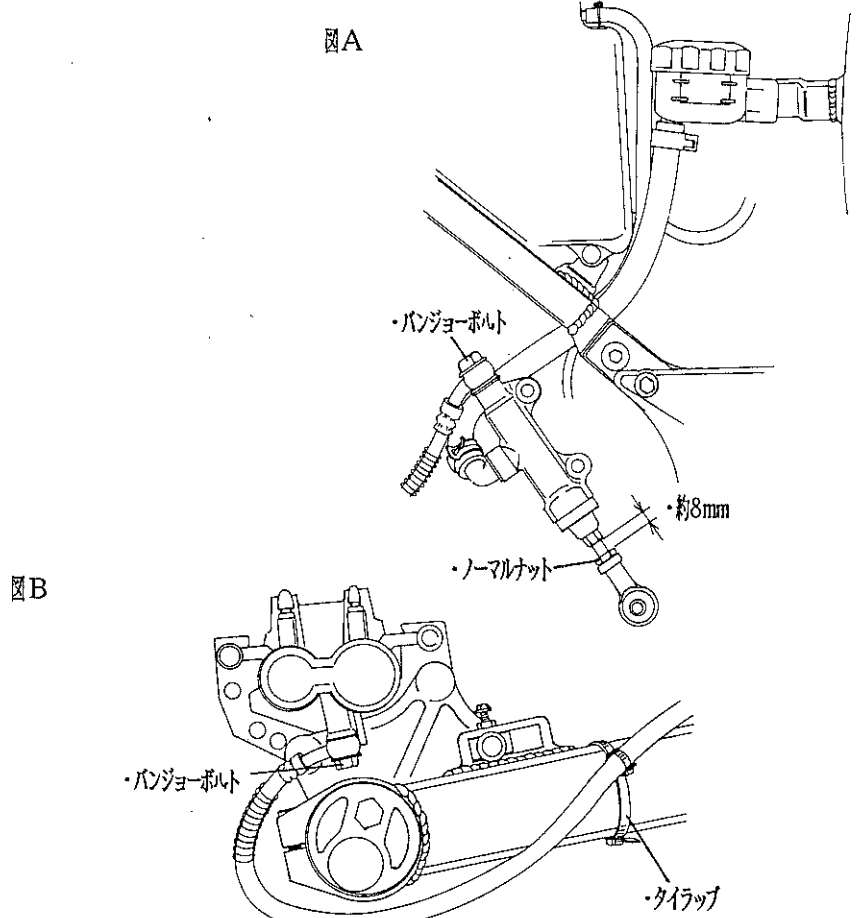


6] 各ボルト・カラーを図の様に、取付説明書No. 1の締め付け(仮締め)手順及び締め付けトルクを参照し、仮締めしてから指定トルクで本締めを行って下さい。ピボットナットの内側と外側に、少量のグリスを塗布しておきます。



(車体の固さで、非常に取り付けにくい場合があるので、作業は慎重に行ってください。)

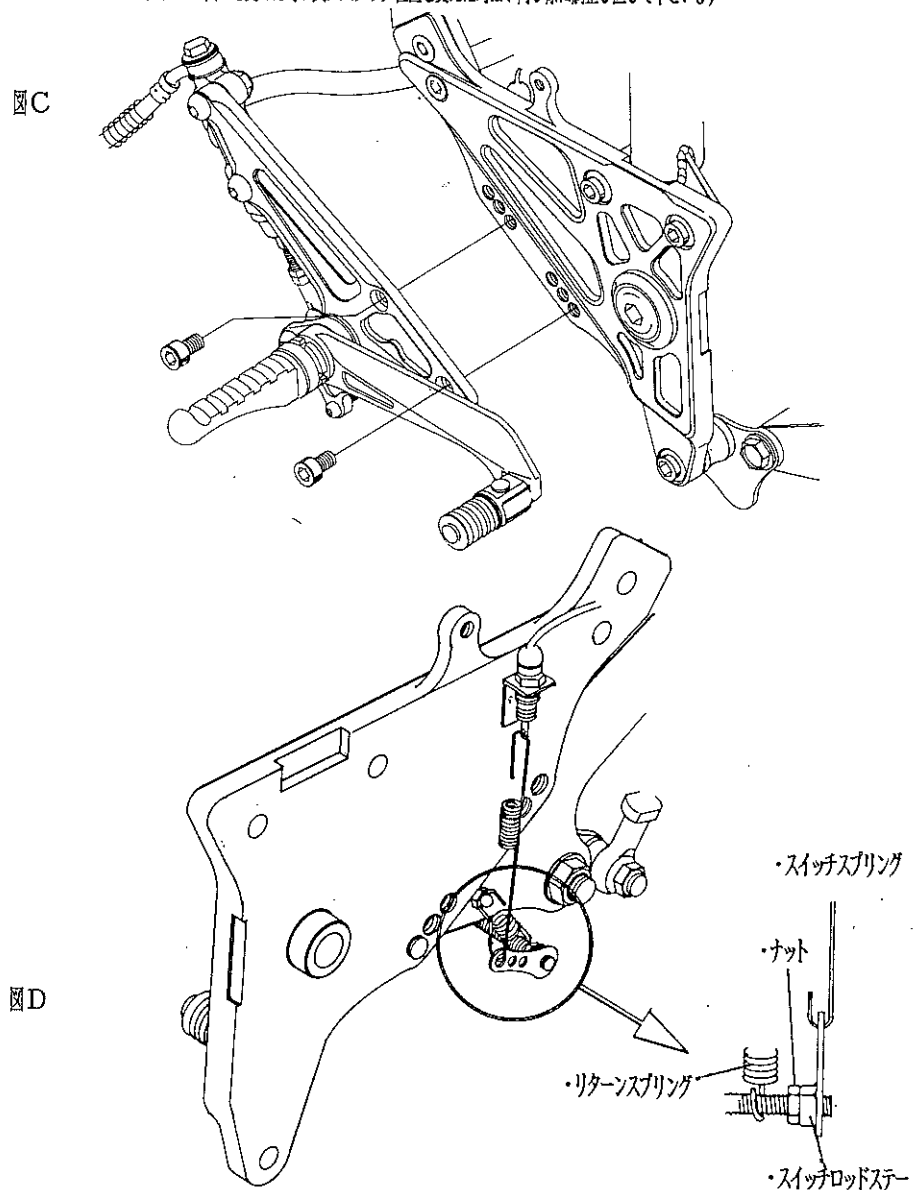
7] 図Aの様に、リザーバーホースをつなぎ、プッシュロッドにピロボールを差し込みます。図Aと図Bのバンジョーボルトを緩めて、ブレーキホースに無理なテンションが掛からない様に、取り回しを変えてタイラップでとめて下さい。(～A6の車両も同じ様に、取り回して下さい。)



・取り回しを変更し終えたら、バンジョーボルトを締め直して下さい。

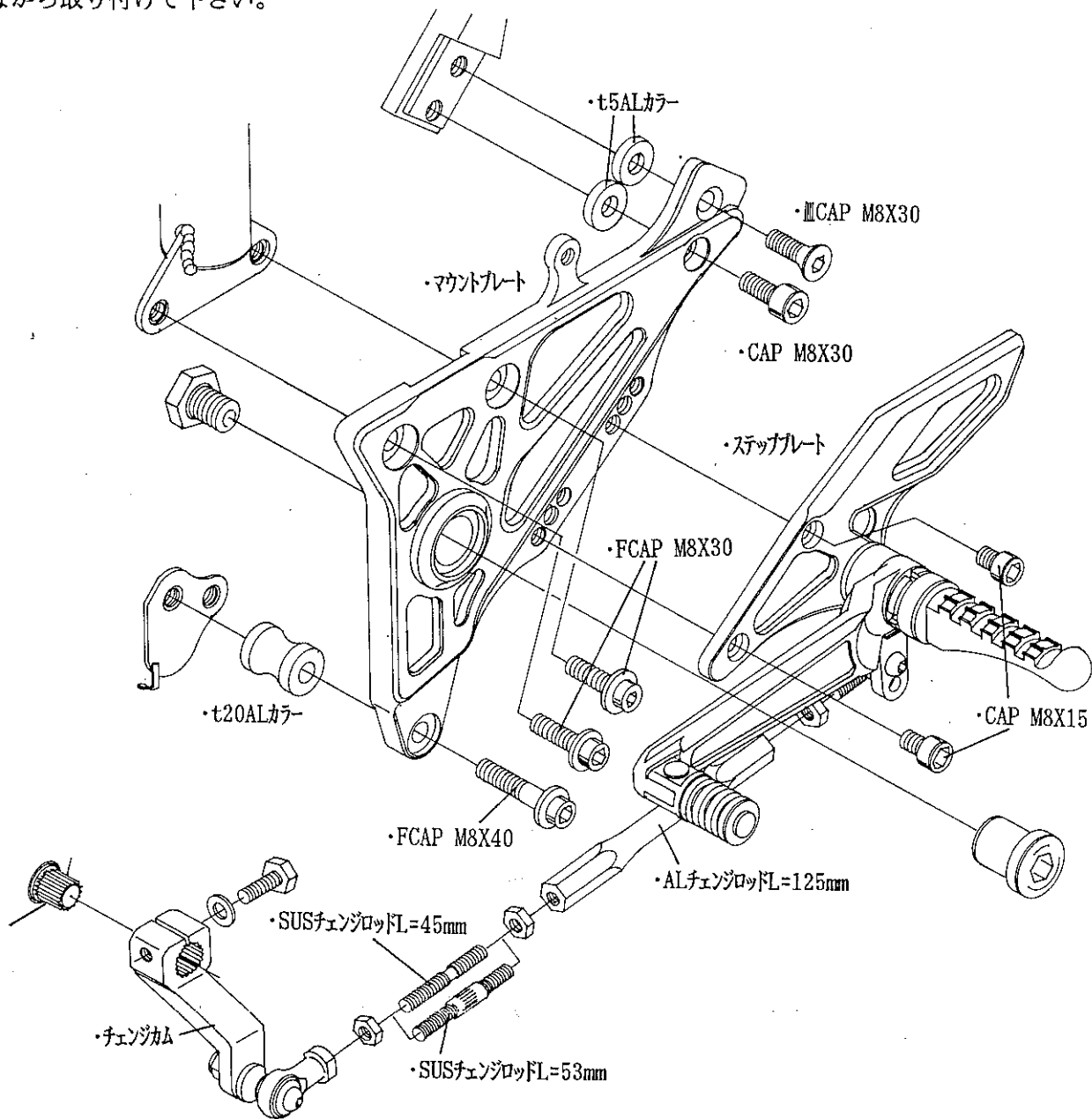
(参考)：メッシュホースなどに交換する場合長さは、～A6は300mm・A7～は350mmです。

8] 図C：ステップホルダーをピボットプレートの好みの位置に取り付けます。マスターシリンダーをステップホルダーに取り付けます。リターンスプリング・スイッチスプリングを図の様に引っかけ、ピロボールを部品図を参照し取り付けます。  
 図D：ペダルの高さ調整は、ピロボールで調整します。ペダルを踏み込んだ時に、点燈する位置でスイッチロッドステーをナットで固定します。(ペダルの高さを変えた時、又はステップ位置を変えた時は、同じ様に調整して下さい。)



(チェンジ側の取り付け)

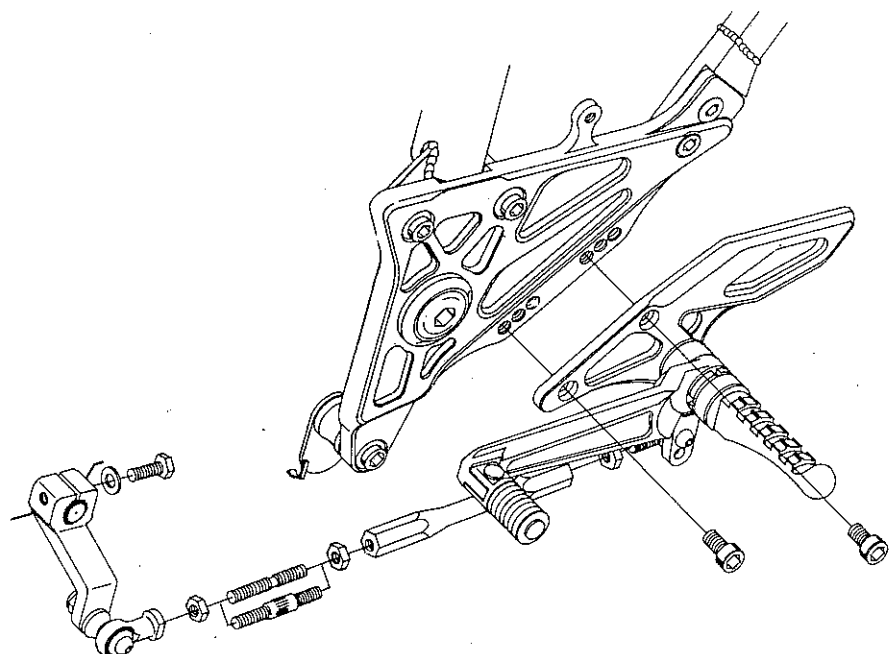
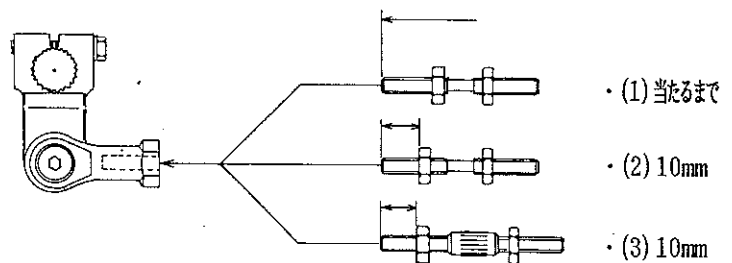
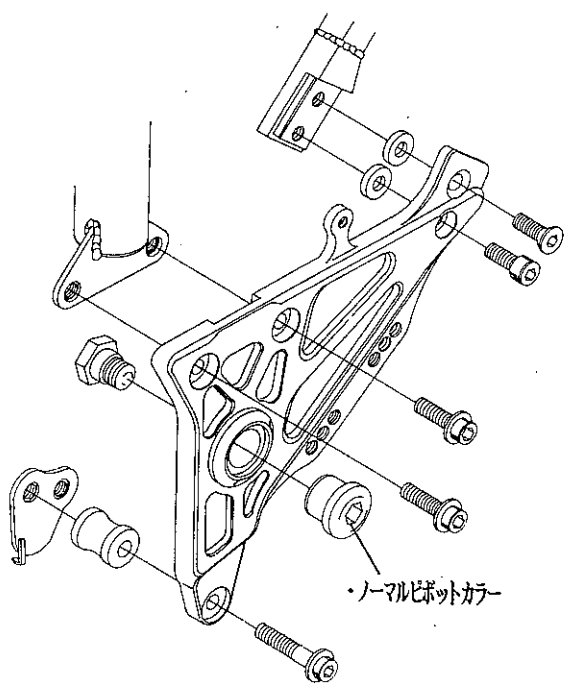
・下の部品構製図を参考にしながら取り付けて下さい。



1] サイドカバー・マウントプレート・スプロケットカバー・チェンジカムを取り外します。

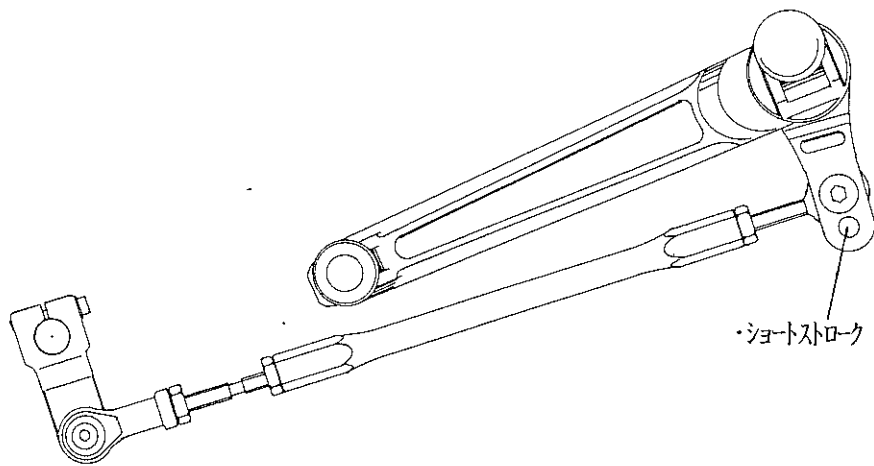
2] 各ボルト・カラーを図の様に、取付説明書No. 1の締め付け（仮り締め）手順及び締め付けトルクを参照し、仮り締めしてから指定トルクで本締めを行って下さい。ピボットナットの内側と外側に、少量のグリスを塗布しておきます。

3] ステップホルダーをマウントプレートの好みの位置に取り付けます。SUSチェンジロッドは、使用するポジションによって長さが異なります。ポジション(1)・(2)は45mm、ポジション(3)は53mmです。それぞれ、チェンジカム側のピロボールに差し込む長さが指定してあるので、注意して下さい。必ずSUSチェンジロッドをロックしてから、ALチェンジロッドを差し込んで下さい。



(車体の固さで、非常に取り付けにくい場合があるので、作業は慎重に行ってください。)

4] 図の様に、チェンジカムとロッド部がだいたい90°になる様に、合わせて下さい。  
 ベダル側のチェンジカムには、ピロボール取り付け穴が2ヶ所あります。標準よりシフトストロークを短くしたい場合は、下側の取り付け穴につけて下さい。  
 ALチェンジカムを回してペダルの高さ調整をし、ナットでロックして下さい。



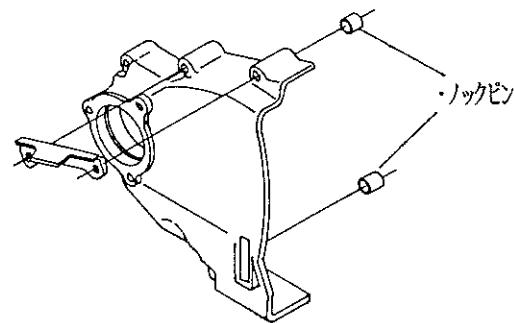
5] ノーマルのスプロケットカバーを取り付けます。

(取り付け終了後)

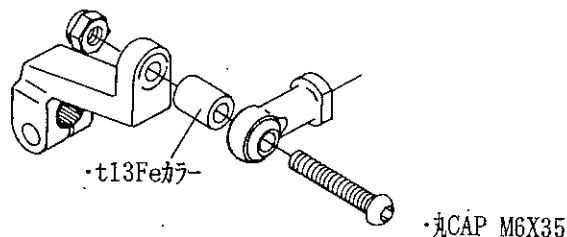
- : ブレーキ側・チェンジ側の各ボルト・ナットの、締め忘れが無いか確認する。
- : パーツクリーナーでブレーキライン周辺を、きれいに脱脂します。ブレーキペダルを何回か踏み、ブレーキフルードがにじんでいないか、確認する。
- : 各部品が干渉していないか確認する。
- : 走行前に、ストップランプ・ブレーキ・チェンジ等が機能しているか確認する。

(逆チェンジに変更する場合)

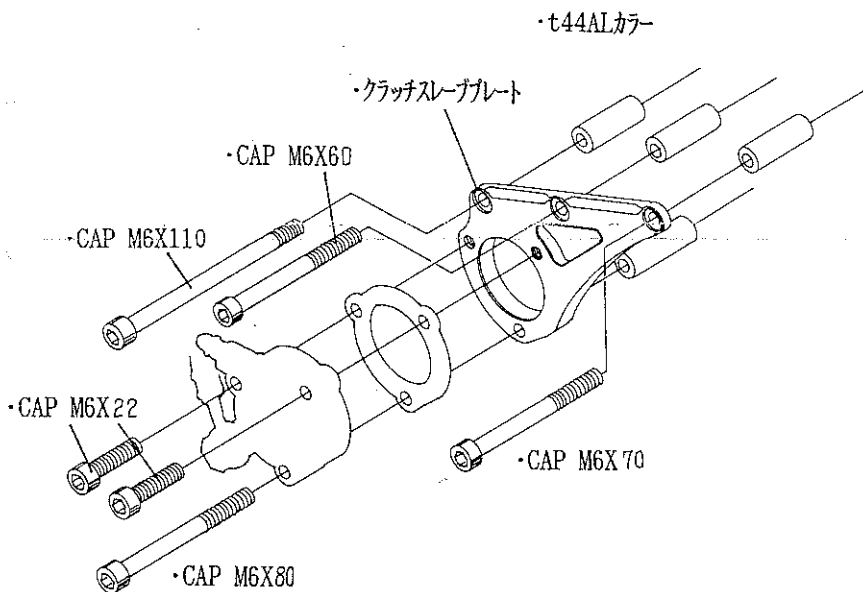
: 図の部品を取り外します。



: チェンジカムを上向きにつけて、カラー・ボルトをつけて替えます。(調整等は、正チェンジと同じ様に行ってください。)



: 図の様に、クラッチスレーブプレートカラーをはさんで取り付けます。中のピストンが出ている時は、押し戻してから取り付けます。取り付け後、パイプホースをサイドカバーに当たらない様に内側に少し曲げて下さい。



(クラッチスレーブプレートは、正チェンジでも取り付けられます。)

商品に関する問い合わせは 0722 (57) 7600 関日本ビート工業までどうぞ